

## 事例5-9

|      |                                                                                      |           |                                                                           |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------|
| 取組名  | LINEオープンチャットの活用等による町会DXの推進                                                           |           |                                                                           |
| 町会名  | わだしもわだ<br>和田下和田町会（和田地区）                                                              | 町会<br>データ | ・人口／182人<br>・世帯数／78世帯<br>・高齢化率／33.0%<br>・町会加入数／54世帯<br>・常会数／2部<br>・隣組数／9班 |
| 取組概要 | ○ LINEオープンチャット「オプチャ下和田」の活用等により、情報伝達の迅速化やペーパーレス化を推進<br>○ 町内公民館のICT環境を整備するほか、ICT講習会を開催 |           |                                                                           |

## 背景・課題

- ・ 町会加入世帯は54世帯と小規模で、顔の見える関係ができています。
- ・ 現町会長就任以来、次の4つを目標に掲げて、DX推進に取り組んでいる。
  - ① 町会会員（遠方の家族を含む）へのタイムリーな情報提供（イベント、災害情報等）
  - ② 通知等の配布・連絡の簡便化による役員負担の軽減
  - ③ 紙資料の削減による事務費の節減
  - ④ コミュニケーションの促進による町会の活性化

## 経過・取組内容

- ・ R6年度からLINEオープンチャットの利用を開始し、会員及び役員間の情報伝達・情報共有の利便性向上を図るほか、災害等発生時の即応体制の構築に取り組んだ。
- ・ また、資料等のペーパーレス化により経費削減を図るとともに、環境負荷の軽減に貢献するものとした。
- ・ 事業の推進に当たっては、公民館のICT環境を整備し、運営基盤の構築を図った。モバイルWi-Fi、Webカメラ等、必要備品の整備には、市の地域チャレンジ応援事業補助金を活用した。

- ・ 並行してICT講習会を全4回（手はじめ編、パソコン編、ネットワーク編、オープンチャット管理者編）開催し、ICT教育の推進を図った。

## 成果・今後の展望等

- ・ LINEオープンチャット「オプチャ下和田」の参加率は、一般81%、役員100%となり、オープンチャット機能による通知・会話、ノート機能による掲示板を活用することで、会員相互の情報伝達が飛躍的に向上した。
- ・ 資料等の電子データ化、最小限のオンデマンドプリントにより印刷物が半減したことで、新たに「町会たより」（電子データ及び紙）を発行する経費が生まれた。
- ・ ゴミステーションに監視カメラを設置し、遠隔監視に変更したことで、立ち合い当番を廃止することができた。
- ・ ICT講習会には、延べ45人に参加し、DX推進への住民意識の向上につながった。



町会内の説明資料より

## 【ポイント】

- ▼ ICT活用の推進により、町会業務の効率化及び負担軽減を実現